

## 黄河 (愛称)

正式名称：中国A株ファンド

設定日：2005年2月28日

信託期間：無期限

決算日：毎年9月21日

(休業日の場合は翌営業日)

分配時期：決算日毎

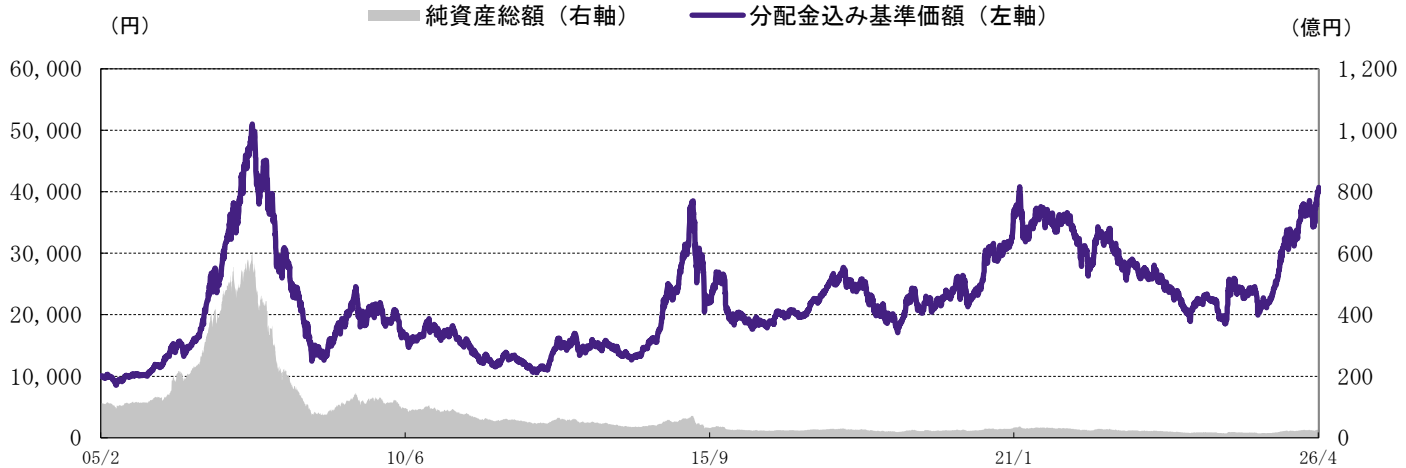
基準価額：40,545円

純資産総額：26.55億円

## 運用実績

※当レポートでは基準価額を1万口当たりで表示しています。  
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。  
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

## &lt;基準価額の推移グラフ&gt;



※分配金込み基準価額は、信託報酬控除後の値です。  
 ※信託報酬は、後述の「手数料等の概要」をご参照下さい。  
 ※分配金込み基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものととして計算した理論上のものである点にご留意下さい。

## &lt;資産構成比率&gt;

|       |       |
|-------|-------|
| 株式    | 97.2% |
| うち先物  | 0.0%  |
| 現金その他 | 2.8%  |

※マザーファンドの投資状況を反映した実質の組入比率で、対純資産総額比です。

## &lt;基準価額の騰落率&gt;

| 1カ月    | 3カ月   | 6カ月    | 1年     | 3年     | 設定来     |
|--------|-------|--------|--------|--------|---------|
| 15.12% | 8.04% | 21.03% | 93.56% | 54.65% | 307.23% |

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものととして計算した理論上のものである点にご留意下さい。

## &lt;基準価額騰落の要因分解&gt;

|         |         |
|---------|---------|
| 前月末基準価額 | 35,220円 |
| 株式等要因   | 4,970円  |
| 為替要因    | 426円    |
| 分配金・その他 | -71円    |
| 当月末基準価額 | 40,545円 |

※上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧下さい。

## &lt;分配金実績（税引前・1万口当たり）&gt;

| 設定来合計 | 2021/9/21 | 2022/9/21 | 2023/9/21 | 2024/9/24 | 2025/9/22 |
|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 100円  | 0円        | 0円        | 0円        | 0円        | 0円        |

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



## ポートフォリオの内容

※下記データはマザーファンドの状況です。比率は、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。  
 ※2021年4月6日に「深セン市場 中小企業板」が「深セン市場 メインボード」に統合されたため、下記<上場市場別組入比率><組入上位10銘柄>の「上場市場」の項目では「深セン市場 メインボード」で表示しています。

## &lt;通貨別投資比率&gt;

|   | 通貨   | 比率    |
|---|------|-------|
| 1 | 人民元  | 83.5% |
| 2 | 香港ドル | 16.2% |
| 3 |      |       |
| 4 |      |       |
| 5 |      |       |
| 6 |      |       |

## &lt;上場市場別組入比率&gt;

|       | 上場市場   | 比率    |
|-------|--------|-------|
| 深セン市場 | メインボード | 31.9% |
|       | 創業板    | 9.5%  |
|       | 上海市場   | 50.7% |
| 上海市場  | メインボード | 36.0% |
|       | 科創板    | 14.7% |
| 香港市場  |        | 16.0% |
| その他市場 |        | 0.0%  |

## &lt;組入上位10業種&gt;

|    | 業種            | 比率    |
|----|---------------|-------|
| 1  | 資本財           | 26.9% |
| 2  | 素材            | 20.2% |
| 3  | テクノロジー・ハードウェア | 15.3% |
| 4  | 半導体・半導体製造装置   | 9.6%  |
| 5  | エネルギー         | 8.1%  |
| 6  | 保険            | 5.8%  |
| 7  | 銀行            | 5.0%  |
| 8  | 医薬品・バイオテクノロジー | 2.7%  |
| 9  | 金融サービス        | 1.7%  |
| 10 | 消費者サービス       | 1.0%  |

※業種分類は当社の分類によるものです。

## &lt;組入上位10銘柄&gt; (銘柄数: 74銘柄)

|   | 銘柄名   | 通貨  | 上場市場         | 業種          | 比率    |
|---|---|-----|--------------|-------------|-------|
| 1 | PING AN INSURANCE GROUP CO-A<br>ピンアン・インシュアランス           | 中国元 | 上海市場 メインボード  | 保険          | 3.01% |
|   | ZHONGJI INNOLIGHT CO LTD-A<br>ジョンジ・イノライト                |     |              |             |       |
| 3 | CONTEMPORARY AMPEREX TECHN-A<br>コンテンポラリー・アンペレックス・テクノロジー | 中国元 | 深セン市場 創業板    | 資本財         | 2.35% |
|   | GOLDWIND SCIENCE&TECHNOLOG-H<br>ゴールドウィンド・サイエンス&テクノロジー   |     |              |             |       |
| 4 | YUANJIE SEMICONDUCTOR TECH-A<br>ユアンジエ・セミコンダクター・テクノロジー   | 中国元 | 上海市場 科創板     | 半導体・半導体製造装置 | 2.19% |
|   | ZIJIN MINING GROUP CO LTD-A<br>ズージン・マイニング・グループ          |     |              |             |       |
| 7 | YANTAI JEREH OILFIELD-A<br>ジェレ・グループ                     | 中国元 | 深セン市場 メインボード | エネルギー       | 2.04% |
|   | GANFENG LITHIUM GROUP CO L-H<br>ガンフォン・リチウム・グループ         |     |              |             |       |
| 9 | SHANDONG HUALU HENGSHENG-A<br>サントウ・ホワルー・ホンション・ケミカル      | 中国元 | 上海市場 メインボード  | 素材          | 1.98% |
|   | CHINA LIFE INSURANCE CO-H<br>チャイナ・ライフ・インシュアランス          |     |              |             |       |

※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。  
 ※上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。  
 ※2018年10月31日現在よりISINコードで銘柄を統合した表記にしています。

## &lt;規模別構成比率&gt;

|                      | 時価総額 | 比率    |
|----------------------|------|-------|
| 超大型株 (5兆円以上)         |      | 25.3% |
| 大型株 (1兆円以上5兆円未満)     |      | 51.8% |
| 中型株 (3,000億円以上1兆円未満) |      | 12.5% |
| 小型株 (3,000億円未満)      |      | 9.0%  |

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## 運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

## ◎市場環境

当月の中国A株市場は前月末比で上昇しました。

米国とイランを巡る中東情勢の緊張緩和への期待が一時高まり世界的に株高となったことに加えて、米国の半導体関連をはじめハイテク企業の決算内容が良好となり、AI（人工知能）の性能向上や安定的に運用するのに欠かせないインフラ投資加速への期待が強まったこと、中国のGDP成長率、鉱工業生産が市場予想を上回り景気の先行き不透明感が後退したことなどが支援材料となり、株価は上昇しました。

セクター別では、半導体関連セクターなどが好調となった一方、銀行などは低調な動きとなりました。

## ◎運用概況

当ファンドの基準価額は前月末比で上昇しました。

月初、地政学的リスクの高まりを背景として市場が調整する局面では、投資妙味が高まったと判断し、テクノロジー関連セクターを中心に、確信度の高い銘柄を選別的に積み増しました。月中以降、市場が力強く反発する中、これらの投資が基準価額に寄与しました。一方、半導体セクターの一部銘柄については急騰局面を受けて利益の一部を確定し、相対的に出遅れ感があつたカーボン・ニュートラル関連および先端製造業関連銘柄への投資を進めました。

## ◎今後の見通し

2026年5月を見据えると、当ファンドは中国株式市場に対して引き続き前向きな見方を維持しているものの、短期的には高い変動性を伴う展開が続く可能性があると想定しています。

足元では、米国とイランを巡る地政学的リスクが後退しつつあり、市場参加者が過度にリスクを織り込まなくなっている点は、投資環境の改善要因と考えています。国内政策面では、中国人民銀行（中央銀行）が緩和的な姿勢を維持しており、戦略的テクノロジー分野やインフラ分野を中心に引き続き財政刺激策が期待されます。

また、2026年は世界の大手テック企業が巨額の設備投資を計画しており、その多くがAIコンピューティング関連のインフラに充当される見通しです。こうした動きは、グローバルな半導体・通信関連サプライチェーン全体に波及効果をもたらすと見込まれることから、当ファンドではAI関連銘柄に対する強気な見通しを維持しています。

一方、リスク要因としては、エネルギーを巡る混乱が長期化した場合、世界的な金利水準が「より長く高水準」で推移し、バリュエーション（株価評価）に敏感な成長株に調整圧力がかかる可能性が挙げられます。もっとも、地政学的緊張が一段と緩和する局面では、中国株式市場は改めて再評価される余地があると考えています。

このような環境下において、当ファンドはリスク管理を徹底しつつ銘柄選別を重視し、収益の可視性が高く、競争力と成長性を兼ね備えた企業への投資を優先していく方針です。総じて、AI主導の構造的なテクノロジーの成長テーマに対して引き続き強気の姿勢を維持しており、中国株式市場は、利益成長、政策支援、投資家心理の改善を背景に、数年にわたる中長期的な再評価局面にあると考えています。

5月の運用戦略としては、収益の見通しが明確で、第1四半期決算の予想上振れや製品サイクルの加速といった短期的な好材料を有する企業に引き続き注目していきます。決算内容を精査した上で、AIハードウェア、景気循環関連、ならびにカーボン・ニュートラル関連分野については、中期的な成長見通しを踏まえ、相対的に高めの保有比率を維持する方針です。

もっとも、4月の急騰後であることを踏まえ、新規の買い付けについては、これまで以上に選別を厳格化し、価格水準やタイミングを含めた投資規律を重視する考えです。また、今後発表される経済指標を通じて、景気回復の動きがテクノロジー分野にとどまらず、より幅広い産業に波及していることが確認されれば、国内消費回復関連銘柄への投資についても、段階的に積み上げていく方針です。

リスク管理は引き続き最重要課題と位置付けています。急激な政策転換や外部環境の変化による市場のショックに備えるため、足元でモメンタム（勢い）が最も高い銘柄への集中度を意識的に引き下げ、ポートフォリオ全体の安定性を高めつつ、下落リスクの抑制を図っていきます。

**投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。**

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

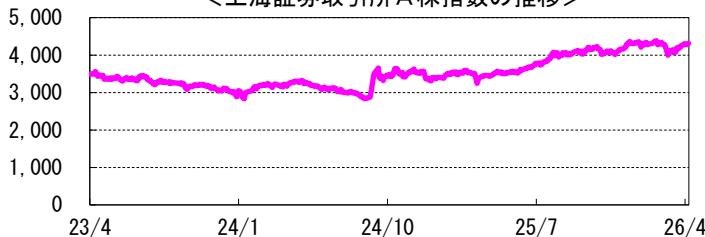
ご参考情報

※「組入上位10銘柄の銘柄概要」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。  
 ※記載の見解等は、作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

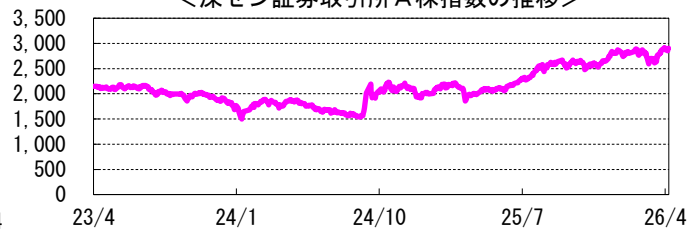
<組入上位10銘柄の銘柄概要>

|   |
|---|
| 1 PING AN INSURANCE GROUP CO-A / ピンアン・インシュアランス / 中国平安保険   |
| 中国の大手保険会社。また、不動産保険、損害保険も手掛ける。銀行、フィンテックへも参入。   |
| 2 ZHONGJI INNOLIGHT CO LTD-A / ジョンジ・イノライト / 中際旭創  |
| 光通信モジュールを主力とする民営企業。中国のデータセンターでは政策支援で需要が急増しており、AIテーマの一環としても市場の注目が高まる。  |
| 3 CONTEMPORARY AMPEREX TECHN-A / コンテンポラリー・アンペレックス・テクノロジー / 寧徳時代新能源科技  |
| 電池製品メーカー。パワーバッテリー・システム、エネルギー貯蔵電池、電池セル、その他製品を製造する。電池リサイクルサービスも展開。  |
| 4 GOLDWIND SCIENCE&TECHNOLOG-H / ゴールドウィンド・サイエンス&テクノロジー / 金風科技   |
| 風力発電サービス会社。自ら風力発電機を製造するほか、風力発電所の建設・運営コンサルティングサービスおよび中規模風力発電所の建設・運営も手掛ける。  |
| 5 YUANJIE SEMICONDUCTOR TECH-A / ユアンジェ・セミコンダクター・テクノロジー / 陝西源杰半导体科技  |
| 光半導体に特化したハイテク企業であり、設計・ウェハー製造・テスト・パッケージング等の全ての工程を網羅している。AIデータセンター向け製品への需要拡大が成長ドライバー。                                   |
| 6 ZIJIN MINING GROUP CO LTD-A / ズージン・マイニング・グループ / 紫金鉱業集団  |
| 金や銅・亜鉛を中心に各種鉱物資源の採掘・精錬・販売を手掛ける。中国最大規模の金鉱山である紫金山鉱山などのほか、海外でも鉱山に出資している。   |
| 7 YANTAI JEREH OILFIELD-A / ジェレ・グループ / 煙台傑瑞石油服務集団   |
| 油田用機械メーカー。油田用機械を開発、製造および販売する。主な製品は、坑井セメンチング装置、坑井破碎装置、天然ガス圧縮設備、輸送設備など。   |
| 8 GANFENG LITHIUM GROUP CO L-H / ガンフォン・リチウム・グループ / 江西贛鋒鋳業集團   |
| 世界有数のリチウム総合企業。上流の鉱山開発から、リチウム化合物・金属製錬、電池製造、リサイクルまで垂直統合。塩湖・鉱石・回収の三方式を商業化できる技術力が強み。EV・蓄電池需要拡大に加え、固体電池や海外鉱山稼働が中長期成長ドライバー。 |
| 9 SHANDONG HUALU HENGSHENG-A / サントウ・ホワルー・ホンション・ケミカル / 山東華魯恒升化工  |
| 化学品から新素材まで幅広い製品を持ち、高効率な生産能力とコスト競争力が強みの総合化学メーカー。高付加価値の新素材・有機アミン領域の拡大が成長を牽引。  |
| 10 CHINA LIFE INSURANCE CO-H / チャイナ・ライフ・インシュアランス / 中国人寿保険   |
| 中国最大の国営生保。個人向け、団体向け生命保険業務のほか、医療保険、傷害保険などの幅広い商品・サービスを提供する。   |

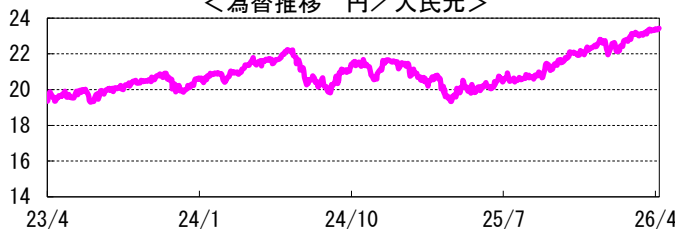
<上海証券取引所A株指数の推移>



<深セン証券取引所A株指数の推移>



<為替推移 円/人民元>



(出所：各種資料を基にアモーヴァ・アセットマネジメントが作成)

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



## ファンドの特色

1

主に、QFII制度を利用して、中華人民共和国(以下、中国)企業の人民元建株式(中国A株)に直接投資を行ないます。

2002年12月のQFII制度\*1施行を受け、中国証券監督管理委員会(CSRC)から認定を受けた国外の機関投資家は、中国企業の人民元建証券への投資が可能になりました。アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社\*2は、2003年12月にQFIIの資格を取得したことにより、人民元建証券に直接投資を行なう投資信託を設定・運用しています。

QFII制度を利用して、中国企業の人民元建株式(中国A株)に直接投資ができる世界初\*3の追加型投信です。

\*1：QFII(Qualified Foreign Institutional Investors:適格国外機関投資家)制度とは、一定の適格条件を満たし、中国の証券市場に投資することについてCSRCの認定を受けた国外の機関投資家に対して、中国証券市場への投資を認める制度です。

\*2：以下、アモーヴァ・アセットマネジメントと記します。

\*3：中国国内で設定された投資信託は除きます。(アモーヴァ・アセットマネジメント調べ)

2

上海証券取引所、深セン証券取引所に上場する中国A株を中心に投資します。

主に、「中国A株マザーファンド」を通じて、上海証券取引所、深セン証券取引所に上場する中国A株を中心に投資を行なうことにより、中国経済の成長を積極的に捉えます。

3

アモーヴァ・アセットマネジメント・アジアリミテッドが運用を行ないます。

中国A株への投資に豊富な実績を有する、アモーヴァ・アセットマネジメント・アジアリミテッドが、マザーファンドの運用を行ないます。

市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

**■お申込みメモ**

|            |  |
|------------|--|
| 商品分類       | 追加型投信／海外／株式  |
| 購入単位       | 販売会社が定める単位<br>※販売会社の照会先にお問い合わせください。  |
| 購入価額       | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額  |
| 信託期間       | 無期限（2005年2月28日設定）  |
| 決算日        | 毎年9月21日（休業日の場合は翌営業日）   |
| 収益分配       | 毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。<br>ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。<br>※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。  |
| 換金価額       | 換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額  |
| 購入・換金申込不可日 | 販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。<br>・上海証券取引所の休業日<br>・深セン証券取引所の休業日<br>・中国の銀行休業日<br>・購入・換金の申込受付日から起算して7営業日目までの期間中に、上海証券取引所の休業日、深セン証券取引所の休業日または中国の銀行休業日が2日以上ある場合   |
| 換金代金       | 原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。   |
| 課税関係       | 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。<br>※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。<br>※公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度（NISA）の適用対象となります。<br>※当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。<br>※配当控除の適用はありません。<br>※益金不算入制度は適用されません。 |

**■手数料等の概要**

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

|              |   |
|--------------|---|
| 購入時手数料       | 購入時の基準価額に対し <u>3.3%（税抜3%）以内</u><br>※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。<br>※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。     |
| 換金手数料        | ありません。  |
| 信託財産留保額      | 換金時の基準価額に対し <u>0.3%</u><br><信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用>  |
| 運用管理費用（信託報酬） | ファンドの日々の純資産総額に対し <u>年率2.31%（税抜2.1%）</u>   |
| その他の費用・手数料   | 監査費用、組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。<br>※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。 |

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

**■委託会社、その他関係法人**

|        |  |
|--------|--|
| 委託会社   | アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社   |
| 投資顧問会社 | アモーヴァ・アセットマネジメント・アジアリミテッド  |
| 受託会社   | みずほ信託銀行株式会社  |
| 販売会社   | 販売会社については下記にお問い合わせください。<br>アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社<br>【ホームページ】 <a href="http://www.amova-am.com">www.amova-am.com</a><br>【コールセンター】 0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。） |

## ■お申込みに際しての留意事項

## ○リスク情報

- ・投資者の皆様は、投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。
- ・当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

## 価格変動リスク

- ・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- ・新興国の株式は、先進国の株式に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。

## 流動性リスク

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・新興国の株式は、先進国の株式に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

## 信用リスク

- ・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト（債務不履行）や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

## 為替変動リスク

- ・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

## カントリー・リスク

- ・投資対象国における非常事態など（金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。
- ・中国の証券市場および証券投資に関する枠組み（決済システムなど市場インフラを含みます。）には、様々な制限および制約があります。これらの制限および制約は、大部分が中国証券監督管理委員会（CSRC）および国家外貨管理局（SAFE）の裁量によって行なわれます。海外からの投資規制や海外への送金規制など種々の規制が緊急に導入されたり、あるいは政策の変更などによる新たな規制が設けられた場合には、ファンドにおいて換金代金等の支払いが遅延したり、投資対象市場に著しい悪影響を及ぼす可能性があります。
- ・上海や深センのストックコネクト（株式相互取引制度）を通じた中国A株への投資においては、取引可能な銘柄が限定されていることに加えて、投資枠や取引可能日の制約、長期にわたって売買停止措置がとられる可能性などにより、意図した通りの取引ができない場合があります。また、ストックコネクト特有の条件や制限は、今後、中国当局の裁量などにより変更となる可能性があります。さらに、ストックコネクトにおける取引通貨はオフショア人民元となり、QFII制度の取引通貨である中国本土のオンショア人民元の為替レートの値動きとは乖離する場合があります。こうした要因から、ファンドの基準価額に影響を与える可能性があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

## ○その他の留意事項

当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は **アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社**  
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号  
 加入協会：一般社団法人資産運用業協会

## 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

| 金融商品取引業者等の名称  | 登録番号     | 加入協会             |               |                 |                    |   |
|---|----------|------------------|---------------|-----------------|--------------------|---|
|   |          | 日本証券業協会          | 一般社団法人資産運用業協会 | 一般社団法人金融先物取引業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 |   |
| 株式会社あおぞら銀行  | 登録金融機関   | 関東財務局長（登金）第8号    | ○             |                 | ○                  |   |
| 株式会社イオン銀行<br>（委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）   | 登録金融機関   | 関東財務局長（登金）第633号  | ○             |                 |                    |   |
| 株式会社SMB C信託銀行   | 登録金融機関   | 関東財務局長（登金）第653号  | ○             | ○               |                    | ○ |
| SMB C日興証券株式会社   | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第2251号 | ○             | ○               | ○                  | ○ |
| 株式会社SBI証券<br>※右の他に一般社団法人日本STO協会、<br>※右の他に一般社団法人日本暗号資産等取引業協会、<br>※右の他に日本商品先物取引協会にも加入 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第44号   | ○             | ○               | ○                  | ○ |
| 株式会社SBI新生銀行<br>（委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券）<br>（委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）                   | 登録金融機関   | 関東財務局長（登金）第10号   | ○             |                 | ○                  |   |
| 岡三証券株式会社  | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第53号   | ○             | ○               | ○                  | ○ |
| 松井証券株式会社  | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第164号  | ○             |                 | ○                  |   |
| マネックス証券株式会社   | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第165号  | ○             | ○               | ○                  | ○ |
| 株式会社みずほ銀行   | 登録金融機関   | 関東財務局長（登金）第6号    | ○             |                 | ○                  | ○ |
| 水戸証券株式会社  | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第181号  | ○             | ○               |                    |   |
| 楽天証券株式会社  | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第195号  | ○             | ○               | ○                  | ○ |

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。  
 ※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。